

HP 掲載文書

【1990年1月から2012年5月までに当科で入院加療した閉塞性動脈硬化症の患者さんへのお知らせ】

<重症虚血肢の治療戦略>

当教室では、川崎医科大学・同付属病院倫理委員会の承認を得て、1990年1月から2012年5月までに当科で入院治療を受けた下肢閉塞性動脈硬化症の重症虚血肢を対象に、血管内治療とバイパスに分けて、治療成績を検討する為の後方視的調査研究を実施します。

当教室の調査期間は、倫理委員会承認日から2013年3月の予定です。

1. 観察研究で、既存資料のみを用いた研究であるため、人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。
2. 研究するために必要な資金をスポンサー(製薬会社など)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみ使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。
3. 研究に関してご質問のある方は、下記までご一報くださいますようお願いいたします。

正木久男 川崎医科大学心臓血管外科学 准教授

701-0192 岡山県倉敷市松島 577

[TEL:086-462-1111](tel:086-462-1111)

E-mail:masaki@med.kawasaki-m.ac.jp

研究組織：川崎医科大学心臓血管外科学

主任研究者：心臓血管外科学 准教授 正木久男